

函 企 交

令和 7 年(2025年) 5 月30日

総務常任委員会委員 各位

企 画 部 長

参考資料の配付について

このことについて、令和 7 年 5 月 3 0 日に開催された「函館市地域公共交通協議会 令和 7 年度第 2 回総会」において議題として提出された資料を、下記のとおり配付いたします。

記

○ 配付資料

- ・函館市地域公共交通協議会 令和 7 年度第 2 回総会資料

(計画推進室交通政策課 TEL 21-3625)

函館市地域公共交通協議会令和7年度第2回総会 議題概要

○議題

議題 番号	議題	概要
1	令和6年度事業報告および収支決算について	令和6年度の事業実施状況および収支決算の状況。
2	令和8年度函館市地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について	函館バス株式会社が運行する望洋団地線について、「地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金」を活用するため、令和8年度の計画を策定するもの。

○報告事項

報告事項	概要
函館市西部地区 AI デマンド交通実証運行の実施結果について	令和6年度に実施した函館市西部地区AIデマンド交通実証運行の利用実績やアンケート結果のほか、今後の課題等についての検討状況を報告するもの。

< 資料目次 >

資料1－1 令和6年度事業報告

資料1－2 令和6年度収支決算書

資料1－3 監査報告書

資料2－1 令和8年度 函館市地域内フィーダー系統確保維持計画（案）

資料2－2 望洋団地線運行実績

報 告 資 料 函館市西部地区AIデマンド交通実証運行の実施結果について

函館市地域公共交通協議会 令和 6 年度 事業報告

1 総会等の開催

(1) 第 1 回総会

期日 令和 6 年 4 月 2 6 日（金）

場所 函館市役所 8 階大会議室

議題 ・ 令和 5 年度事業報告および収支決算について
・ 令和 6 年度事業計画(案)および収支予算(案)について
・ A I デマンド交通実証運行について
・ 函館市 L R T 整備計画について
・ その他

(2) 第 1 回ワーキンググループ会議

期日 令和 6 年 5 月 3 1 日（金）

場所 函館市役所本庁舎 8 階第 1 会議室

議題 ・ A I デマンド交通実証運行について
・ その他

(3) 第 2 回総会（書面開催）

期日 令和 6 年 6 月 1 3 日（木）（書類送付日）

議題 ・ 令和 7 年度函館市地域内フィーダー系統確保維持計画について

(4) 第 3 回総会（書面開催）

期日 令和 6 年 7 月 1 2 日（金）（書類送付日）

議題 ・ 令和 6 年度函館市生活交通改善事業計画（案）について
（ユニバーサルデザインタクシー等導入促進事業）

(5) 第4回総会

期日 令和6年8月22日（木）

場所 函館市役所8階 大会議室

- 議題
- ・函館市西部地区A I デマンド交通実証運行について
 - ・函館バス株式会社におけるバス路線の系統廃止および路線廃止について
 - ・その他

(6) 第5回総会（書面開催）

期日 令和6年12月11日（水）（書類送付日）

- 議題
- ・令和6年度函館市地域内フィーダー系統確保維持事業（望洋団地線）の評価について

(7) 第6回総会

期日 令和7年2月19日（水）

場所 函館市役所8階 大会議室

- 議題
- ・函館バス株式会社におけるバス路線の減便，系統廃止および路線廃止について
 - ・その他

(8) 第7回総会（書面開催）

期日 令和7年3月14日（金）（書類送付日）

- 議題
- ・南茅部地区における一般乗用旅客運送（タクシー）事業の営業区域外運送について

2 函館市西部地区 AI デマンド交通実証運行関連事業

(1)町会向け説明会

開催日 令和6年6月18日

会場 アクロス十字街

参加者数 10名

(2)運行事業者の公募

公募開始日 令和6年6月25日

応募者数 4社

開札日 令和6年7月10日

契約者 函館第一交通（株）

(3)利用者向け説明会（運行開始前）

開催日 令和6年10月8日～12日

会場 地域交流まちづくりセンター，函館市公民館，
ふるる函館，アクロス十字街

対象者 制限なし

参加者数 86名

(4)函館市西部地区 AI デマンド交通実証運行の実施

実施期間 令和6年10月15日～令和7年2月11日

延利用者数 2,190人

その他 運行期間中にアンケート調査を実施。

①利用者向けアンケート調査

回答内容 利用者属性・運行内容への意見・感想等

実施方法 紙媒体・WEB

回答数 148件

②函館市公式 LINE によるアンケート調査

回答内容 認知度，利用状況，利用しない理由等

配信日 令和7年1月17日

回答数 1,151件（うち運行区域内住民108）

③運行事業者向けアンケート調査

回答内容 利用者からの反応，実施の感想等

実施日 運行終了後

回答数 12件

(5)利用者向け説明会（運行開始後）

①説明依頼のあった町会に対する説明会

開催日 令和6年11月10日～令和7年1月15日

会場 地域内町会館等（8町会）

対象者 各町会員

参加者数 64名

②商業施設内での個別説明・チラシ配布

開催日 令和6年12月16日～20日

会場 ツルハドラッグ大町店，サツドラ宝来店，
コープさっぽろ末広西店，マックスバリュートン田店

配布数 105枚

3 その他関連業務

路線バスの乗り方教室・運転手の仕事紹介

開催日 令和6年11月21日（木）

会場 函館市立弥生小学校

対象 1年生15人，2年生20人

講師 函館バス株式会社

内容 路線バスの乗り方説明，運転手の仕事紹介，
路線バス乗車体験

※路線バスの乗り方教室・運転手の仕事紹介の様子



資料 1 - 2

函館市地域公共交通協議会 令和6年度収支決算書

(収入の部)

(単位:円)

科 目	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	比 較 (B)－(A)	説 明
負担金	22,839,000	22,839,000	0	函館市
国庫補助金	5,931,844	5,931,844	0	地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (共創・MaaS 実証プロジェクト補助金)
雑 入	9,456	9,456	0	預金利息
合 計	28,780,300	28,780,300	0	

(支出の部)

(単位:円)

科 目	予 算 額 (A)	決 算 額 (B)	比 較 (A)－(B)	説 明
事業費	22,354,000	9,105,721	13,248,279	西部地区AIデマンド交通実証運行に係る経費
需用費	322,000	421,657	△ 99,657	広報作成費
使用料及び賃借料	1,953,000	2,130,830	△ 177,830	SAVS使用料, 会場使用料
役務費	639,000	21,017	617,983	振込手数料, 機材運搬料
委託料	19,440,000	6,532,217	12,907,783	運行委託料, 広報配布委託料, 広告掲出委託料
事務費	485,000	19,674,579	△ 19,189,579	
報償費	390,000	295,000	95,000	協議会委員報酬
需用費	0	0	0	
使用料及び賃借料	14,000	0	14,000	
役務費	81,000	56,980	24,020	振込手数料
償還金, 利子及び割引料	0	19,322,599	△ 19,322,599	函館市への負担金の返還
予備費	5,941,300	0	5,941,300	
合 計	28,780,300	28,780,300	0	

収支差額 : 0円

監 査 報 告 書

令和 6 年度(2 0 2 4 年度)における函館市地域公共交通協議会の収入および支出について、帳簿、証拠書類ならびに預金通帳の内容に基づき監査を実施した結果、収支決算報告書のとおり適正に処理されているものと認められましたので、ご報告いたします。

令和 7 年 5 月 3 0 日

函館市地域公共交通協議会

津田 陽一
西村 淳

令和 8 年度函館市地域内フィーダー系統確保維持計画（案）

令和 7 年 5 月 日

（名称） 函館市地域公共交通協議会

1. 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

函館市内の銭亀沢地区においては、国道 278 号を運行する路線バス（地域間幹線系統）「下海岸線」が主要な交通手段となっているが、これと並行する沿線に形成される住宅地は急斜面上の高台に所在し、特に高齢者の買い物等における既存の地域間幹線バスの利用が難しい状況にあった。

このことから、地域住民の要望に基づき、平成 30 年 11 月より、旧戸井線を経由し、「根崎競技場前」や「湯倉神社前」等のバス停において「下海岸線」、「旭岡団地線」の地域間幹線系統と接続する路線バス「望洋団地線」を運行している。

高齢者をはじめとした地域住民の利便性を確保するとともに、アクセスの確保による公共交通網の利用促進を図るため、当該系統の維持が必要である。

2. 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

（1）事業の目標

- ・ 望洋団地線の 1 便あたり乗車人数を 9.2 人以上（令和 6 年度実績 9.1 人）とする。
- ・ 望洋団地線の経常収支率を 61%（令和 6 年度実績 60.44%）とする。
※燃料費高騰等の影響を受けている状況ではあるが、沿線町会から運行時刻等に関する要望や利用実態を聞き取るなど、現状を把握して改善に努めるとともに、町会の協力のもと周知を図ることで利用を促進していく。

（2）事業の効果

「望洋団地線」の運行により、従来路線バスの利用が困難であった高齢者等の地域住民による公共交通の利用が促進される。

また、地域間幹線系統に接続する運行ダイヤとすることで、連携する公共交通網の利用が促進され、地域の活性化が図られる。

3. 2. の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

- ・ 利用者のニーズ調査に基づき、運行経路や運行時刻を設定することにより、路線の利便性を高め、利用者数の確保に繋げる。（事業者）
- ・ 町会等の住民団体における周知活動等を支援し、地域における公共交通利用の機運醸成を図る。（函館市、住民団体）

4. 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び 運送予定者
表 1 を添付。
5. 地域公共交通確保維持事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額
運行経費 1, 9 6 3, 5 9 0 円（前年度実績値）から運賃収入、営業外収入及び国庫補助金を控除した額を函館バス株式会社が負担する。
6. 2. の目標・効果の評価手法及び測定方法
・利用者数や収支について、数値指標によるモニタリング・評価を実施。 ・OD調査を実施。
7. 別表 1 の補助対象事業の基準ホただし書に基づき、協議会が平日 1 日当たりの 運行回数が 3 回以上で足りると認めた系統の概要 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>
※該当なし
8. 別表 1 の補助対象事業の基準ニに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村 に準ずる生活基盤が整備されている」と認めた市町村の一覧 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>
※該当なし
9. 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及 びその他特記事項 <u>【地域間幹線系統のみ】</u>
※該当なし
10. 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要 <u>【地域内フィーダー系統のみ】</u>
表 5 を添付。
11. 車両の取得に係る目的・必要性 <u>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けよ うとする場合のみ】</u>
※該当なし

12. 車両の取得に係る定量的な目標・効果 <u>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u>
(1) 事業の目標
※該当なし
(2) 事業の効果
※該当なし
13 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者又は地方公共団体、要する費用の総額、負担者とその負担額 <u>【車両減価償却費等国庫補助金・公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u>
※該当なし
14. 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画（車両の代替による費用削減等の内容、代替車両を活用した利用促進策） <u>【公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u>
① 車両の代替による費用削減等の内容
※該当なし
② 代替車両を活用した利用促進策
※該当なし
15. 貨客混載の導入に係る目的・必要性 <u>【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u>
※該当なし
16. 貨客混載の導入に係る定量的な目標・効果 <u>【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】</u>
(1) 事業の目標
※該当なし

(2) 事業の効果	
※該当なし	
17. 貨客混載の導入に係る計画の概要、要する費用の総額、内訳、負担者及び負担額【貨客混載導入経費国庫補助金を受けようとする場合のみ】	
※該当なし	
18. 協議会の開催状況と主な議論	
令和4年4月25日	函館市生活交通協議会の後継となる函館市地域公共交通協議会設立
令和4年6月24日	函館市地域公共交通協議会令和4年度第2回総会開催 令和5年度函館市地域内フィーダー系統確保維持計画案承認
令和4年12月21日	函館市地域公共交通協議会令和4年度第4回総会開催 令和4年度事業の評価を実施
令和5年6月23日	函館市地域公共交通協議会令和5年度第1回総会開催 令和6年度函館市地域内フィーダー系統確保維持計画案承認
令和5年12月12日	函館市地域公共交通協議会令和5年度第4回総会開催 令和5年度函館市地域内フィーダー系統確保維持計画案承認
令和6年6月13日	函館市地域公共交通協議会令和6年度第2回総会開催 令和7年度函館市地域内フィーダー系統確保維持計画案承認
令和6年12月11日	函館市地域公共交通協議会令和6年度第5回総会開催 令和6年度事業の評価を実施
令和7年5月 日	函館市地域公共交通協議会令和7年度第2回総会開催 令和8年度函館市地域内フィーダー系統確保維持計画案承認予定
19. 利用者等の意見の反映状況	
令和2年1月 銭亀沢地区町会連合会とバス事業者の協議により運行時刻・経路を変更	

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 函館市東雲町4番13号

(所 属) 函館市企画部計画推進室交通政策課

(氏 名) 小島 絵美

(電 話) 0138-21-3625

(e-mail) bus@city.hakodate.hokkaido.jp

注意： 本様式はあくまで参考であり、補助要綱の要件を満たすものであれば、この様式によらなくても差し支えありません。

実際の計画作成に当たっては補助要綱等を踏まえて作成をお願いいたします。

各記載項目について、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画を作成している場合には、当該計画から該当部分を転記したり、別添〇〇計画△節のとおり、等として引用したりすることも可能です。(ただし、上記2.・3.については、地域公共交通利便増進実施計画及び地域旅客運送サービス継続実施計画に定める目標、当該目標を達成するために行う事業及びその実施主体に関する事項との整合性を図るようにして下さい。また、地域公共交通計画全体として、協議会における協議が整った上で提出される必要があります)。

※該当のない項目は削除せず、「該当なし」と記載して下さい。

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運送予定者(地域内フィーダー系統)

令和8年度

市区町村名	運送予定者名	運行系統名等 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	利 便 増 進 特 例 措 置	運 送 継 続 特 例 措 置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7・別表9・別表10)			
			起点	経由地 営業区域	終点						運行態様の別	基準ハで該 当する要件 (別表7・9)	補助対象地域間幹線 系統等と接続の確保	基準ホで該当 する要件 (別表7のみ)
函館市	函館バス株式会社	(1) 望洋団地線	新湊高台・ 函館共働 宿泊所	湯倉神社前	新湊高台・ 函館共働 宿泊所	往 (循環)km 復 14.0km	154 日	231.0 回			路線定期運行	①・②(1)	地域間幹線系統である下 海岸線・旭岡団地線と湯 倉神社前・根崎競技場前 ほかにて接続	③
						往 km 復 km	日	回						
						往 km 復 km	日	回						
						往 km 復 km	日	回						
						往 km 復 km	日	回						

(注)

1. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名等」に運賃低廉化を行う運行サービスの名称を記載すること。
2. 区域運行又は乗用タクシーによる運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域又は運賃低廉化対象地域を記載することとし、「起点」、「終点」及び「系統キロ程」について記載を要しない。
3. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
4. 「利便増進特例措置」及び「運送継続特例措置」については、利便増進計画又は運送継続計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9又は別表10)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載すること。
5. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行、乗用タクシーによる運行の別を記載すること。
6. 「補助対象地域間幹線系統等と接続の確保」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークとどのように接続を確保するかについて記載すること。
7. 乗用タクシーによる運行の場合は、「運行系統名」「利便増進特例措置」について記載を要しない。
8. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。乗用タクシーによる運行の場合は、営業区域を示した地図を添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市区町村名	函館市
-------	-----

(単位:人)

	人 口
人口集中地区以外	
交通不便地域	251,084

交通不便地域等の内訳

人 口	対象地区	根拠法
241,024	旧函館市	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法(経過措置)
10,060	旧戸井町, 旧恵山町, 旧榎法華村, 旧南茅部町	過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法

地域公共交通計画、地域公共交通利便増進実施計画、地域旅客運送サービス継続実施計画の策定年月日及び特例適用開始年度

計画名	策定年月日	特例適用開始年度
函館市地域公共交通計画	令和6年1月	

(1) 記載要領

1. 人口は最新の国勢調査結果を基に記載すること。ただし、地方運輸局長等が指定する交通不便地域の場合は、申請する年度の前年度の3月末現在の住民基本台帳を基に記載すること。
2. 「人口集中地区以外」の欄は、国勢調査結果により設定された人口集中地区に該当しない地区の人口を記載すること。
3. 「交通不便地域等」の欄は、地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱（以下、「交付要綱」という。）の別表7（ハ②（1））に記載のある過疎地域の人口及び交付要綱別表7（ハ②（2）（実施要領の2.（1）⑪））に基づき地方運輸局長等が指定する交通不便地域の人口及び交付要綱別表7リに基づき地方運輸局長等が認める地域の合計（重複する場合を除く）を記載すること。
4. 「対象地区」の欄には、当該市町村の一部が交付要綱別表7（ハ②（1））に掲げる法律（根拠法）に基づき地域指定されている場合に、根拠法ごとに当該区域の旧市町村名等を記載すること。また、地方運輸局長等が指定する交通不便地域等が存在する場合には、該当する区域名を記載すること。
5. 「根拠法」の欄は、交通不便地域を地方運輸局長等が指定した場合は、「局長指定」と記載すること。また、乗用タクシー以外での輸送が著しく困難であるものとして地方運輸局長等が認めた場合は、「局長指定（乗用）」と記載すること。
6. 「特例適用開始年度」の欄は、地域公共交通利便増進実施計画又は地域旅客運送サービス継続実施計画を策定し、利便増進特例又は運送継続特例を適用する場合に記載すること。

(2) 添付書類

1. 「人口集中地区以外の地区」及び「交通不便地域等」の区分が分かる地図を添付すること。（ただし、全域が交通不便地域等となる場合には省略可）

望洋団地線 運行系統図



火曜、木曜運行

黒ライン コース	新湊高台・函館共働宿泊所	新湊団地	シンフォニー	望洋団地B	望洋団地自治会館	望洋団地A	志海苔赤坂団地	志海苔ふれあいパークゴルフ場	大林道路	根崎団地	高松展望広場	函館出雲大社	弥衛門川	高松町	根崎	根崎競技場前	湯倉神社前⑤	湯倉神社前②	湯川温泉電停前	市民会館・函館アリーナ前	湯の川生協前	湯川支所前	湯川中学校前	湯倉神社前④	湯川小学校前	フレスポ戸倉前	根崎競技場前	根崎	高松町	弥衛門川	函館出雲大社	高松展望広場	根崎団地	大林道路	志海苔ふれあいパークゴルフ場	望洋団地A	望洋団地自治会館	望洋団地B	シンフォニー	新湊団地	新湊高台・函館共働宿泊所		
	94	9:30	9:31	9:31	9:32	9:33	9:34	9:35	9:36	9:37	9:37	9:38	9:39	9:40	9:41	9:43	9:44	9:46	9:47	9:48	9:50	9:51	9:52	9:53	9:55	9:56	9:58	10:00	10:01	10:02	10:04	10:05	10:06	10:07	10:07	10:08	10:09	10:10	10:11	10:12	10:13	10:13	10:14
	94	11:30	11:31	11:31	11:32	11:33	11:34	11:35	11:36	11:37	11:37	11:38	11:39	11:40	11:41	11:43	11:44	11:46	11:47	11:48	11:50	11:51	11:52	11:53	11:55	11:56	11:58	12:00	12:01	12:02	12:04	12:05	12:06	12:07	12:07	12:08	12:09	12:10	12:11	12:12	12:13	12:13	12:14
	94	13:30	13:31	13:31	13:32	13:33	13:34	13:35	13:36	13:37	13:37	13:38	13:39	13:40	13:41	13:43	13:44	13:46	13:47	13:48	13:50	13:51	13:52	13:53	13:55	13:56	13:58	14:00	14:01	14:02	14:04	14:05	14:06	14:07	14:07	14:08	14:09	14:10	14:11	14:12	14:13	14:13	14:14

日曜運行

青ライン コース	新湊高台・函館共働宿泊所	新湊団地	シンフォニー	望洋団地B	望洋団地自治会館	望洋団地A	志海苔赤坂団地	志海苔ふれあいパークゴルフ場	大林道路	根崎団地	高松展望広場	函館出雲大社	弥衛門川	高松町	根崎	根崎競技場前	湯川3丁目	湯川小学校前	フレスポ戸倉前	根崎競技場前	根崎	高松町	弥衛門川	函館出雲大社	高松展望広場	根崎団地	大林道路	志海苔ふれあいパークゴルフ場	望洋団地A	望洋団地自治会館	望洋団地B	シンフォニー	新湊団地	新湊高台・函館共働宿泊所	
	94A	9:30	9:31	9:31	9:32	9:33	9:34	9:35	9:36	9:37	9:37	9:38	9:39	9:40	9:41	9:43	9:44	9:45	9:47	9:49	9:51	9:52	9:53	9:55	9:56	9:57	9:58	9:58	9:59	10:00	10:01	10:02	10:03	10:04	10:04
	94A	11:30	11:31	11:31	11:32	11:33	11:34	11:35	11:36	11:37	11:37	11:38	11:39	11:40	11:41	11:43	11:44	11:45	11:47	11:49	11:51	11:52	11:53	11:55	11:56	11:57	11:58	11:58	11:59	12:00	12:01	12:02	12:03	12:04	12:04
	94A	13:30	13:31	13:31	13:32	13:33	13:34	13:35	13:36	13:37	13:37	13:38	13:39	13:40	13:41	13:43	13:44	13:45	13:47	13:49	13:51	13:52	13:53	13:55	13:56	13:57	13:58	13:58	13:59	14:00	14:01	14:02	14:03	14:04	14:04

令和 6 年度 望洋団地線運行実績

1 乗車人数

(単位：人)

	R05.10	R05.11	R05.12	R06.1	R06.2	R06.3	R06.4	R06.5	R06.6	R06.7	R06.8	R06.9	合計
火曜日1便	82	70	81	63	78	72	75	57	59	96	66	74	873
火曜日2便	74	60	61	52	80	52	53	38	61	85	43	52	711
火曜日3便	23	15	13	8	5	8	20	10	15	20	13	15	165
火曜日小計	179	145	155	123	163	132	148	105	135	201	122	141	1,749
木曜日1便	57	67	58	54	63	77	44	73	58	61	84	69	765
木曜日2便	44	58	47	49	72	53	36	61	45	52	83	43	643
木曜日3便	16	22	11	11	7	15	13	18	10	14	19	22	178
木曜日小計	117	147	116	114	142	145	93	152	113	127	186	134	1,586
日曜日1便	42	23	28	28	33	40	23	29	21	29	22	29	347
日曜日2便	34	26	34	34	29	43	33	31	33	23	37	37	394
日曜日3便	9	9	13	15	14	12	14	5	16	10	13	17	147
日曜日小計	85	58	75	77	76	95	70	65	70	62	72	83	888
1便目小計	181	160	167	145	174	189	142	159	138	186	172	172	1,985
2便目小計	152	144	142	135	181	148	122	130	139	160	163	132	1,748
3便目小計	48	46	37	34	26	35	47	33	41	44	45	54	490
合計	381	350	346	314	381	372	311	322	318	390	380	358	4,223

火曜運行日数	5	4	4	4	4	4	5	4	4	5	4	4	51
木曜運行日数	5	4	4	4	4	4	5	5	4	4	5	4	52
日曜運行日数	5	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4	5	51
運行日数計	15	12	12	12	12	13	14	13	12	13	13	13	154

2 1便あたり乗車人数

(単位：人/便)

	R05.10	R05.11	R05.12	R06.1	R06.2	R06.3	R06.4	R06.5	R06.6	R06.7	R06.8	R06.9	全期間
火曜日1便	16.4	17.5	20.3	15.8	19.5	18.0	15.0	14.3	14.8	19.2	16.5	18.5	17.1
火曜日2便	14.8	15.0	15.3	13.0	20.0	13.0	10.6	9.5	15.3	17.0	10.8	13.0	13.9
火曜日3便	4.6	3.8	3.3	2.0	1.3	2.0	4.0	2.5	3.8	4.0	3.3	3.8	3.2
火曜日平均	11.9	12.1	12.9	10.3	13.6	11.0	9.9	8.8	11.3	13.4	10.2	11.8	11.4
木曜日1便	11.4	16.8	14.5	13.5	15.8	19.3	8.8	14.6	14.5	15.3	16.8	17.3	14.7
木曜日2便	8.8	14.5	11.8	12.3	18.0	13.3	7.2	12.2	11.3	13.0	16.6	10.8	12.4
木曜日3便	3.2	5.5	2.8	2.8	1.8	3.8	2.6	3.6	2.5	3.5	3.8	5.5	3.4
木曜日平均	7.8	12.3	9.7	9.5	11.8	12.1	6.2	10.1	9.4	10.6	12.4	11.2	10.2
日曜日1便	8.4	5.8	7.0	7.0	8.3	8.0	5.8	7.3	5.3	7.3	5.5	5.8	6.8
日曜日2便	6.8	6.5	8.5	8.5	7.3	8.6	8.3	7.8	8.3	5.8	9.3	7.4	7.7
日曜日3便	1.8	2.3	3.3	3.8	3.5	2.4	3.5	1.3	4.0	2.5	3.3	3.4	2.9
日曜日平均	5.7	4.8	6.3	6.4	6.3	6.3	5.8	5.4	5.8	5.2	6.0	5.5	5.8
1便目平均	12.1	13.3	13.9	12.1	14.5	14.5	10.1	12.2	11.5	14.3	13.2	13.2	12.9
2便目平均	10.1	12.0	11.8	11.3	15.1	11.4	8.7	10.0	11.6	12.3	12.5	10.2	11.4
3便目平均	3.2	3.8	3.1	2.8	2.2	2.7	3.4	2.5	3.4	3.4	3.5	4.2	3.2
合計	8.5	9.7	9.6	8.7	10.6	9.5	7.4	8.3	8.8	10.0	9.7	9.2	9.1

令和 7 年度 望洋団地線運行実績

1 乗車人数

(単位：人)

	R06.10	R06.11	R06.12	R07.1	R07.2	R07.3	R07.4	R07.5	R07.6	R07.7	R07.8	R07.9	合計
火曜日1便	96	81	80	77	53	76	91						554
火曜日2便	72	57	65	47	38	62	61						402
火曜日3便	27	34	43	25	18	26	37						210
火曜日小計	195	172	188	149	109	164	189	0	0	0	0	0	1,166
木曜日1便	96	60	59	69	67	55	76						482
木曜日2便	60	43	51	40	55	34	52						335
木曜日3便	39	39	25	25	33	16	18						195
木曜日小計	195	142	135	134	155	105	146	0	0	0	0	0	1,012
日曜日1便	29	17	40	19	28	23	35						191
日曜日2便	30	25	28	22	23	16	18						162
日曜日3便	15	27	28	13	10	20	17						130
日曜日小計	74	69	96	54	61	59	70	0	0	0	0	0	483
1便目小計	221	158	179	165	148	154	202	0	0	0	0	0	1,227
2便目小計	162	125	144	109	116	112	131	0	0	0	0	0	899
3便目小計	81	100	96	63	61	62	72	0	0	0	0	0	535
合計	464	383	419	337	325	328	405	0	0	0	0	0	2,661

火曜運行日数	5	4	4	4	4	4	5						30
木曜運行日数	5	4	4	3	4	4	5						29
日曜運行日数	4	4	5	4	4	5	4						30
運行日数計	14	12	13	11	12	13	14	0	0	0	0	0	89

2 1便あたり乗車人数

(単位：人/便)

	R06.10	R06.11	R06.12	R07.1	R07.2	R07.3	R07.4	R07.5	R07.6	R07.7	R07.8	R07.9	全期間
火曜日1便	19.2	20.3	20.0	19.3	13.3	19.0	18.2						18.5
火曜日2便	14.4	14.3	16.3	11.8	9.5	15.5	12.2						13.4
火曜日3便	5.4	8.5	10.8	6.3	4.5	6.5	7.4						7.0
火曜日平均	13.0	14.3	15.7	12.4	9.1	13.7	12.6						13.0
木曜日1便	19.2	15.0	14.8	23.0	16.8	13.8	15.2						16.6
木曜日2便	12.0	10.8	12.8	13.3	13.8	8.5	10.4						11.6
木曜日3便	7.8	9.8	6.3	8.3	8.3	4.0	3.6						6.7
木曜日平均	13.0	11.8	11.3	14.9	12.9	8.8	9.7						11.6
日曜日1便	7.3	4.3	8.0	4.8	7.0	4.6	8.8						6.4
日曜日2便	7.5	6.3	5.6	5.5	5.8	3.2	4.5						5.4
日曜日3便	3.8	6.8	5.6	3.3	2.5	4.0	4.3						4.3
日曜日平均	6.2	5.8	6.4	4.5	5.1	3.9	5.8						5.4
1便目平均	15.8	13.2	13.8	15.0	12.3	11.8	14.4						13.8
2便目平均	11.6	10.4	11.1	9.9	9.7	8.6	9.4						10.1
3便目平均	5.8	8.3	7.4	5.7	5.1	4.8	5.1						6.0
合計	11.0	10.6	10.7	10.2	9.0	8.4	9.6						10.0

函館市西部地区AIデマンド交通実証運行の 実施結果について

報告資料



函館市地域公共交通協議会 令和7年度第2回総会（令和7年5月30日（金））

1. 実証概要

実証運行の概要

実証期間	令和6年10月15日（火）～令和7年2月11日（火）
運行時間	毎日午前9時00分～午後4時30分（土日祝日・年末年始含む）
運行範囲	函館市西部地区の右図に示す範囲（11町）
運行車両	「専用車両」2台を函館第一交通（株）が運行 ※混雑状況等を踏まえ、営業車両から切り替え運行する 「切替車両」2台を用意していたが導入実績なし
運行方式	道路運送法第21条許可（予約制・区域運行），ドアtoドア方式
予約方法	電話 または WEB ※コールセンター：函館第一交通
運賃	・大人(中学生以上) 300円 ・小児(満1歳～小学生), 身体・療育・精神の障がい者手帳をお持ちの方とその介護人1名まで 150円 ・乳児(満1歳未満) 無料
システム	(株) 未来シェア製「SAVS」によるAI配車
利用促進の取組み	・谷地頭温泉・サツドラ宝来店での来店割引キャンペーン ・広報誌掲載・SNS掲載・チラシ全戸配布・地域内外の広告掲出新聞・TV等報道，説明会の開催（計19回）



※運行区域の町毎の人口・老年人口（令和7年2月末現在）

町名	総数	老年人口(65歳以上)
入舟町	505	262 51.9%
船見町	795	351 44.2%
弥生町	938	404 43.1%
弁天町	822	374 45.5%
大町	560	215 38.4%
末広町	823	394 47.9%
元町	832	372 44.7%
青柳町	1,552	648 41.8%
谷地頭町	1,210	537 44.4%
住吉町	753	419 55.6%
宝来町	1,271	545 42.9%
合計	10,061	4,521

検討事項（令和6年度第4回総会資料より）

- ①効率的で利便性の高い公共交通ネットワーク形成のためのAIデマンド交通導入に向け、移動ニーズを踏まえた、効率性が高く、地域住民に受け入れられやすい運行内容等の確認
- ②バス運転手不足へ対応するため、大型二種免許以外で運行可能な交通モードへの転換可能性について検証
- ③函館山山麓の急な斜面に宅地が立地していることが、バス停・電停などへの徒歩移動を困難にしているという、西部地区の交通上の課題の解消手段となるかどうかの検証

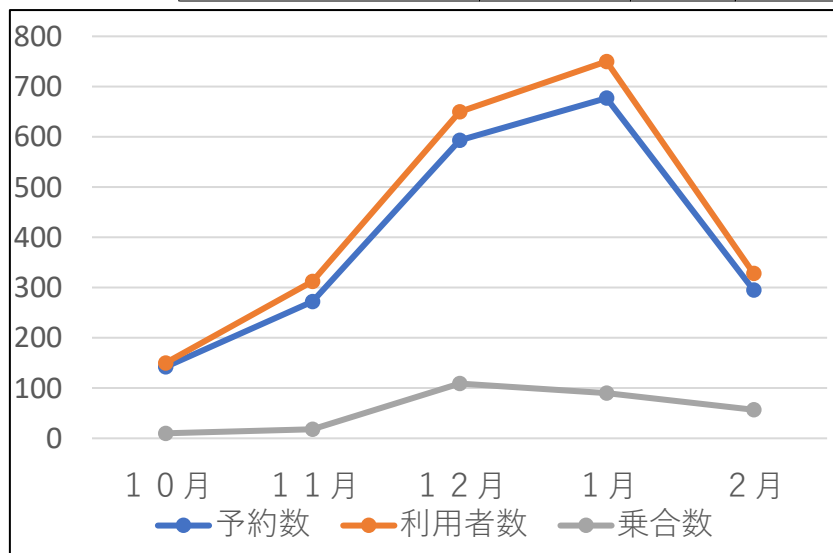
2-1. 実証結果

(1) 利用実績

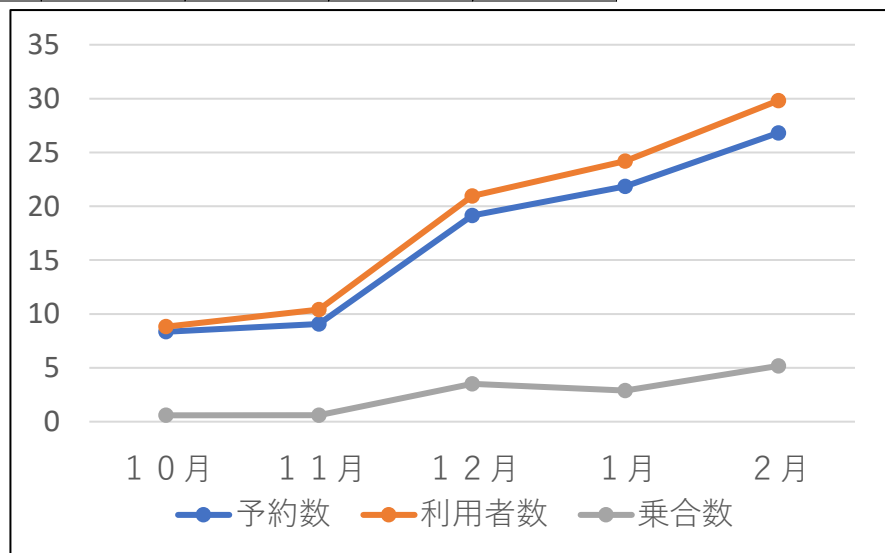
- 実証期間中の予約（キャンセルを除く）は1,979件、延べ利用者数（使用された座席数）は2,190人、乗合数（予約数のうちの乗合数。1名と1名が乗り合い⇒2件と計上）は284件であった。
- 1日平均の延べ利用者数について、10月の8.35人が、2月には29.82人となり、3倍以上に増加した。

項目		単位	10月	11月	12月	1月	2月	合計
運行予約数	合計	件	142	272	593	677	295	1,979
	一日平均		8.35	9.07	19.13	21.84	26.82	17.04
延べ利用者数	合計	人	150	312	650	750	328	2,190
	一日平均		8.82	10.40	20.97	24.19	29.82	18.84
乗合数	合計	件	10	18	109	90	57	284
	一日平均		0.59	0.60	3.52	2.90	5.18	2.56
	乗合率		7.04	6.62	18.38	13.29	19.32	14.35
登録アカウント数	合計	件	49	54	72	43	0	218

月別合計値



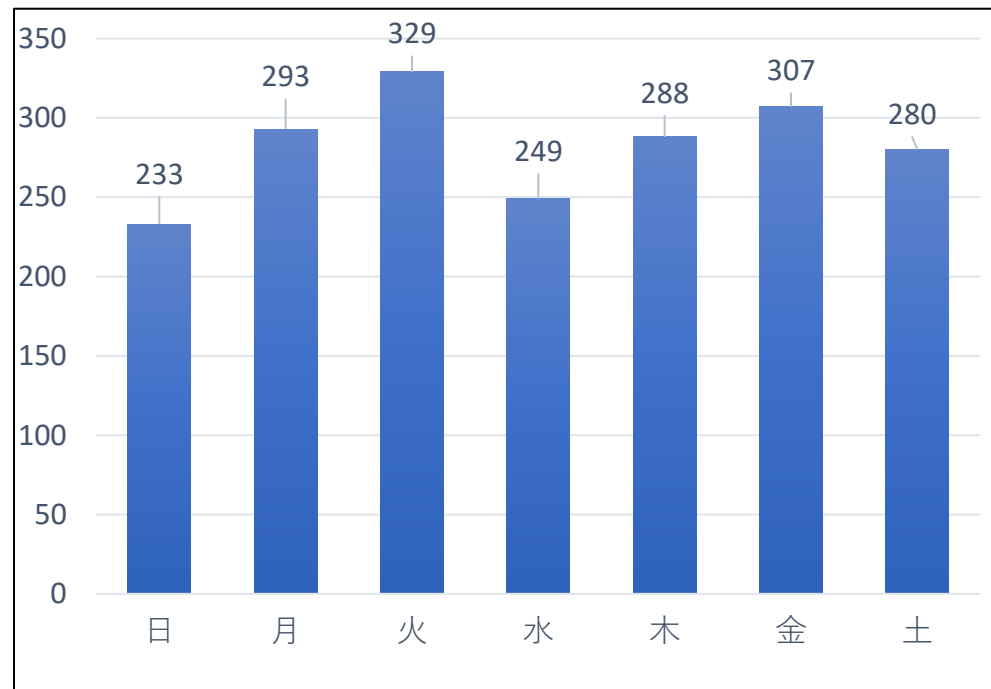
1日平均値



2-1. 実証結果

(2) 利用状況（曜日毎）

- 火曜日の利用が最多，日曜日の利用が最小となった。
- 降車地の内訳を参照すると，火曜日は全体的に利用が多いが，比較的「医療機関」・「コンビニエンスストア」・「公共施設」の利用者が多い。
- その他の特色として，温泉利用は月・金（函館バス9系統運行日と同じ曜日），スーパー利用は日・土・火が多い。



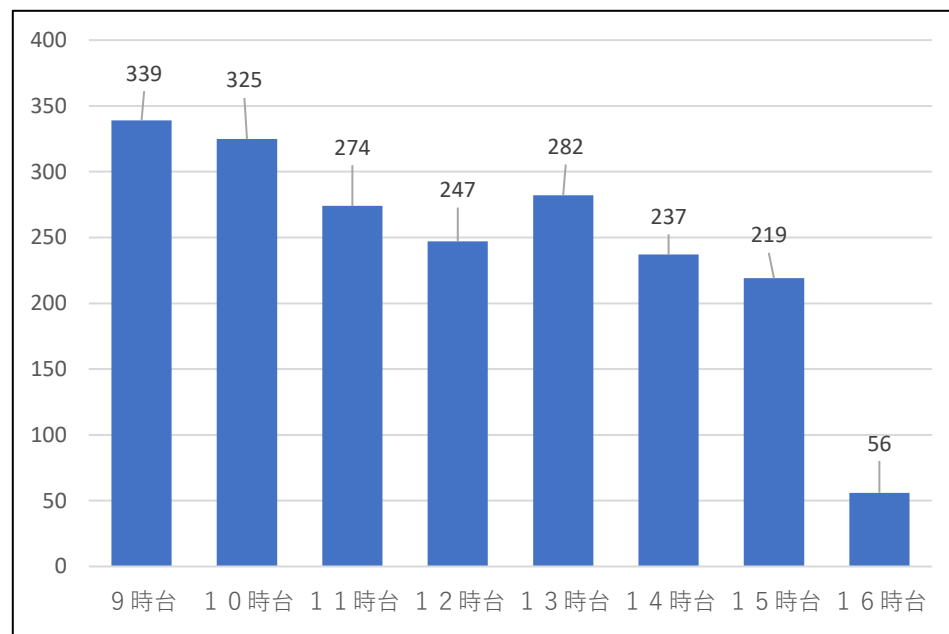
<曜日×降車地（種別・上位10件のみ）>

曜日	温泉	スーパー マーケット	医療機関	コンビニ	ドラッグ ストア	歯科	飲食店	公共施設	停留所	神社/ 寺院/教会
日	25	35		7	9	2	8	1	3	9
月	40	26	25	8	5	5	6	4	5	2
火	28	33	27	19	3	10	6	11	4	5
水	36	11	9	9	4	6	1	3	2	6
木	30	28	20	5	10	8	8	5	4	4
金	41	21	25	10	6	5	2	5	5	1
土	32	34	14	7	11	3	6	6	7	1
総計	232	188	120	65	48	39	37	35	30	28

2-1. 実証結果

(3) 利用状況（時間帯別）

- 9時台の利用が最多となり、以降は減少するものの、13時台に再度増加し、以降はまた減少している。
- 時間帯別の降車地（種別）集計結果を参照すると、9時台は比較的「スーパーマーケット」・「医療機関」の利用が多かった。



<時間帯×降車地（種別・上位10件のみ）>

	温泉	スーパー マーケット	医療機関	コンビニ	ドラッグ ストア	歯科	飲食店	公共施設	停留所	神社/ 寺院/教会
09時台	71	66	50	7	5	12	1	7	2	4
10時台	73	24	35	10	9	12	8	2	6	11
11時台	23	26	4	13	6	1	9	2	10	4
12時台	20	13	1	9	9		11	11	4	3
13時台	24	25	6	10	6	2	5	7	7	4
14時台	16	22	21	3	8	5	1	2		1
15時台	5	11	3	6	3	1	2	3	1	1
16時台		1		7	2	6		1		0
総計	232	188	120	65	48	39	37	35	30	28

2-1. 実証結果

(4) 利用状況（乗降地）

<乗車地（町別）>

	10月	11月	12月	1月	2月	合計
入舟町	7	16	48	59	31	161
船見町	7	8	19	16	8	58
弥生町	4	13	36	76	34	163
弁天町	5	9	30	37	24	105
大町	11	18	31	45	16	121
末広町	39	78	161	153	57	488
元町	10	13	33	34	12	102
青柳町	12	23	41	43	14	133
谷地頭町	20	35	98	136	57	346
住吉町	11	24	30	19	8	92
宝来町	16	35	66	59	34	210
計	142	272	593	677	295	1,979

<降車地（町別）>

	10月	11月	12月	1月	2月	合計
入舟町	11	17	42	53	25	148
船見町	16	20	52	34	21	143
弥生町	11	16	29	65	32	153
弁天町	4	8	26	42	19	99
大町	13	26	38	42	17	136
末広町	25	49	121	116	51	362
元町	12	17	31	39	12	111
青柳町	15	36	74	74	25	224
谷地頭町	12	34	100	136	55	337
住吉町	8	19	29	20	10	86
宝来町	15	30	51	56	28	180
計	142	272	593	677	295	1,979

<降車地種別>

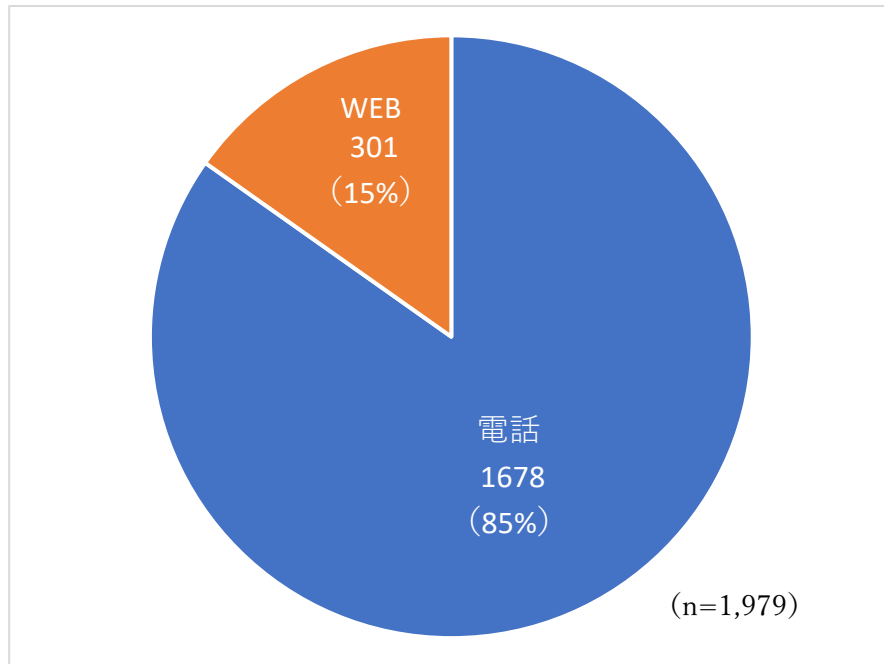
	降車地種別	予約数
1	その他（※自宅等）	1,056
2	温泉	232
3	スーパーマーケット	188
4	病院・医院	120
5	コンビニエンスストア	65
6	ドラッグストア	48
7	歯科	39
8	飲食店	37
9	公共施設	35
10	停留所	30
11	神社・寺院・教会	28
12	介護・福祉施設	27
13	銀行	20
14	町会館	18
15	コインランドリー等	13
16	郵便局	12
17	観光施設	5
18	学校	3
19	ホームセンター	2
20	個人商店	1
	合計	1,979

2-1. 実証結果

(5) 利用状況（予約方法）

- 予約方法は電話が85%，WEBは15%となり，圧倒的に電話予約が多かった。
- 時間帯では9時台の電話予約が最も多く，続いて10時台が多い結果となり，早い時間に電話予約が集まることを確認した。一方でWEBでは13時台・11時台の予約が多かった。

<予約件数のうち予約方法の内訳>



<時間帯ごとの予約方法の内訳>

	電話	WEB
9 時台	310	29
1 0 時台	279	46
1 1 時台	223	51
1 2 時台	207	40
1 3 時台	230	52
1 4 時台	203	34
1 5 時台	181	38
1 6 時台	45	11
小計	1,678	301
合計	1,979	

2-1. 実証結果

(6) 利用状況（乗合発生状況・クロス集計）

- 乗合が発生する曜日は月曜日、時間帯は10時台が最多となった。
- 乗車地・降車地ともに谷地頭町で乗合発生が多かった。温泉を降車地とする場合の発生が多かったことから、谷地頭温泉を利用される方で乗合が発生していたことと思われる。

<乗合発生×曜日>

日	月	火	水	木	金	土	総計
23	49	48	36	45	46	37	284

<乗合発生×乗車地（町名）>

入舟	船見	弥生	弁天	大町	末広	元町	青柳	谷地頭	住吉	宝来	総計
33	8	31	18	14	57	7	9	68	9	30	284

<乗合発生×時間帯>

09時台	10時台	11時台	12時台	13時台	14時台	15時台	16時台	総計
60	69	50	36	20	29	15	5	284

<乗合発生×降車地（町名）>

入舟	船見	弥生	弁天	大町	末広	元町	青柳	谷地頭	住吉	宝来	総計
29	22	18	14	16	53	14	18	70	7	23	284

<乗合発生×降車地（種別）>

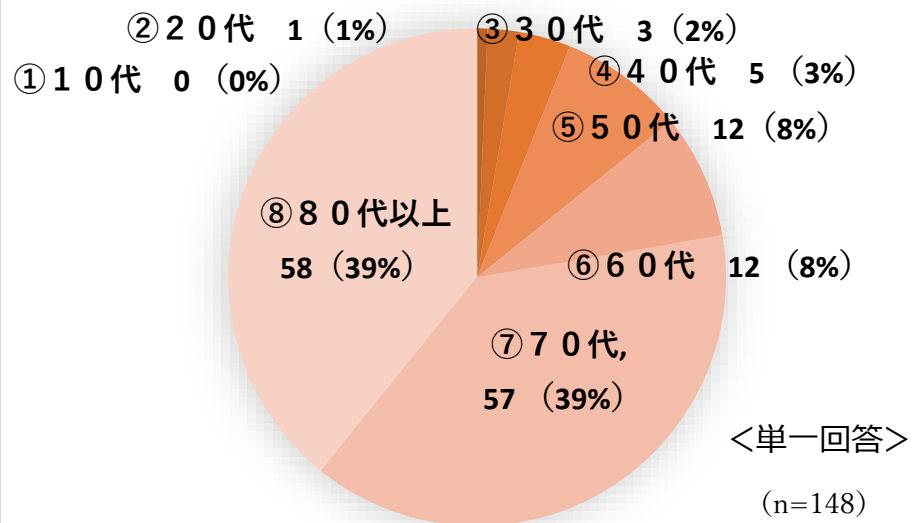
温泉	医療機関	スーパー	コンビニ	飲食店	歯科	交通	公共施設	町会館	神社・寺院・教会	介護
54	26	20	8	5	5	4	4	4	4	4

2-2. 実証結果（利用者アンケート）

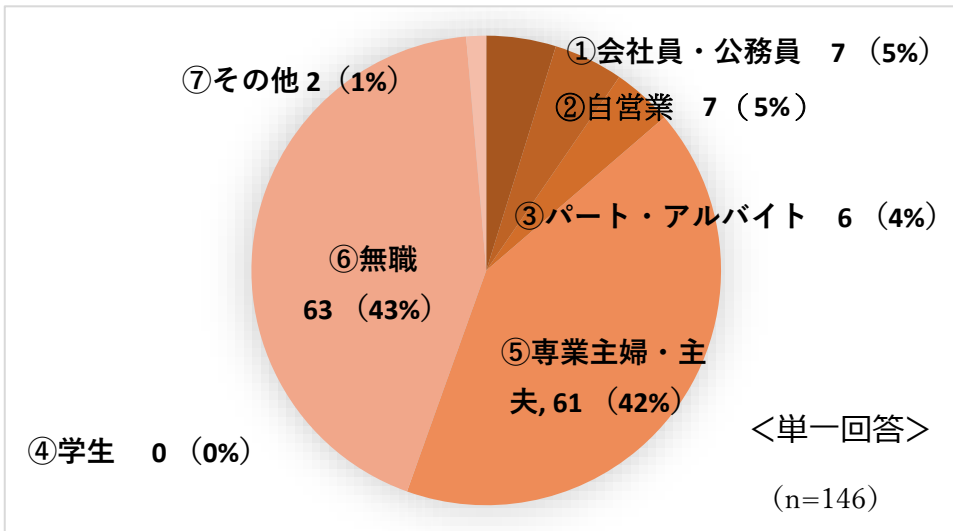
（1）利用者アンケート結果（利用者属性）

- AIデマンド交通に関する利用者の属性・感想・意見について確認するべく、アンケート用紙・WEBアンケートフォームにて回答を集めた。
- 回答数は全体で148件であり、このうち用紙による回答は139件、WEB回答は9件であった。
- 回答者の年齢は80代、70代が7割以上となり、20・30代の回答はわずかであった。また、職業は無職・専業主婦が8割以上となった。
- 普段利用する交通手段としては、市電による移動が最多となった。

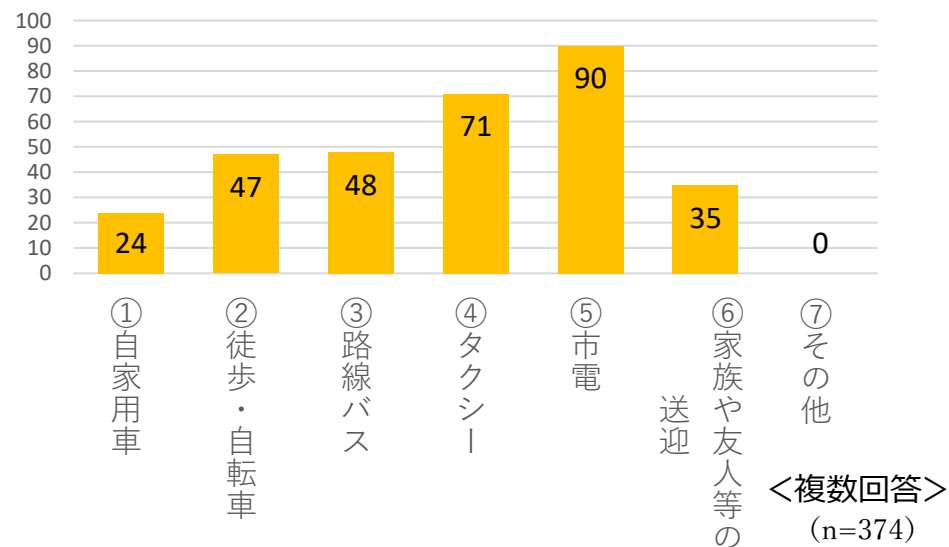
<年齢について>



<職業について>



<普段の移動手段について>

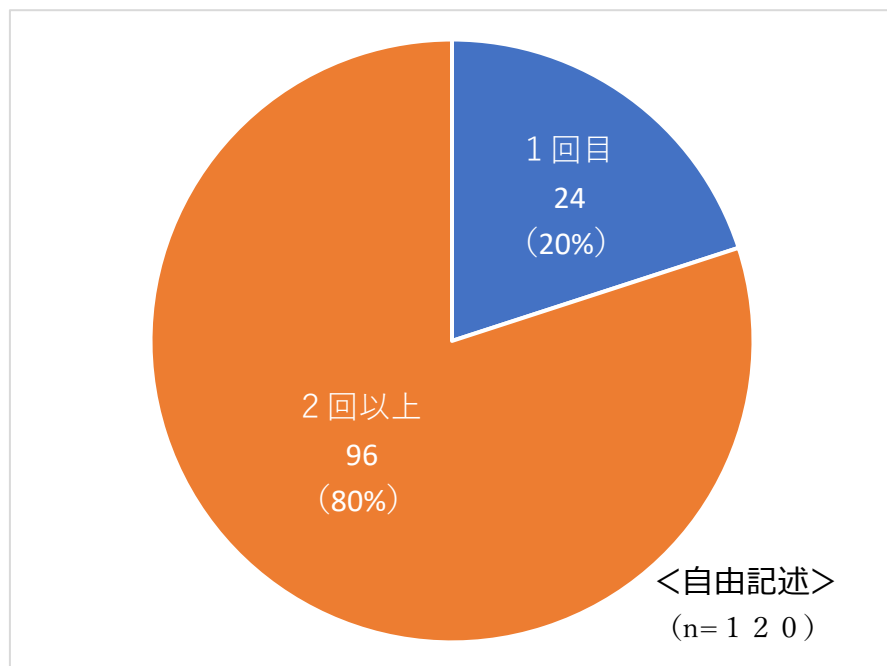


2-2. 実証結果（利用者アンケート）

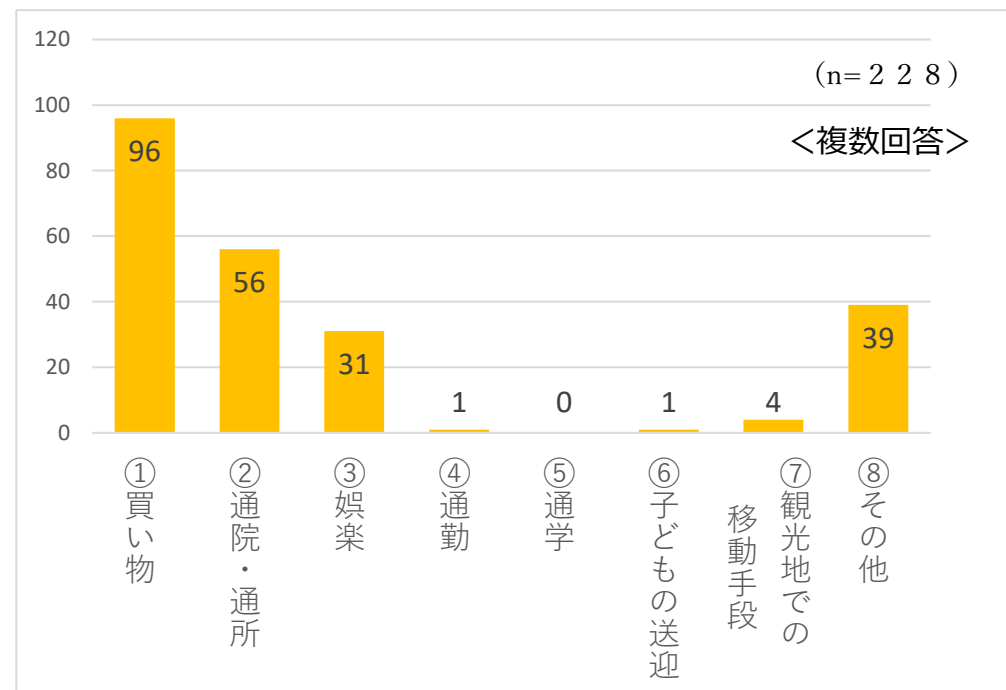
（2）利用者アンケート結果（利用状況）

- 利用状況に関する調査では、1回目という回答よりも、2回目以上の方の回答が多かった。このことから、期間中に複数回利用したりピーターが多いことが確認できる。
- 利用目的は「買い物」という回答がもっとも多く、「通院・通所」・「その他」が続いた。なお、「その他」の内訳としては「温泉」がほとんどであった。

<利用は何回目ですか>



<利用の目的は>

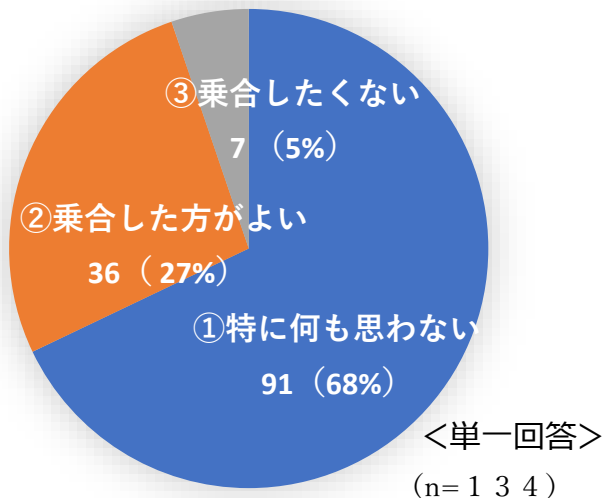


2-2. 実証結果（利用者アンケート）

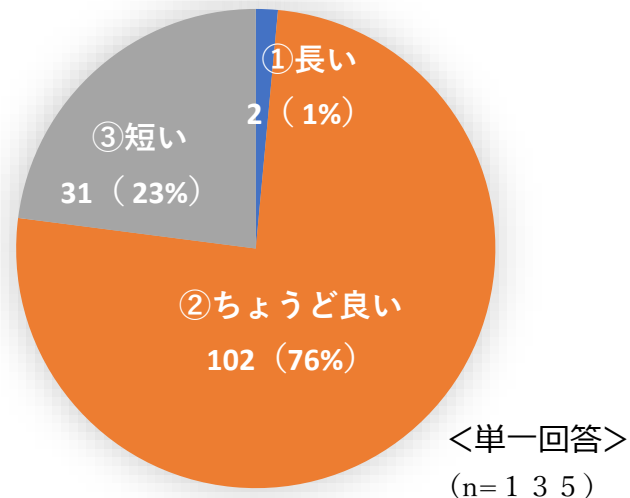
（3）利用者アンケート結果（運行内容について）

- 乗合運行については「特に何も思わない」「乗合した方がよい」が9割以上となった。また、運賃・運行時間帯については「ちょうど良い」という回答が約7割となっている。なお、運行時間について「17時まで」を求める声が複数あった。
- 運行範囲については適切と「思わない」という意見が3割あり、函館駅・市役所までの拡大を求める声があった。

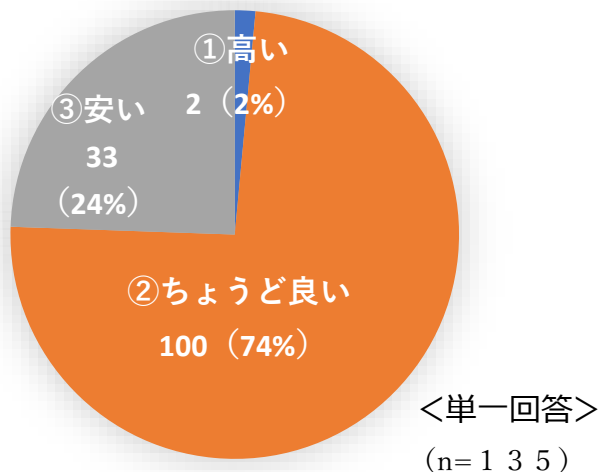
乗合運行について



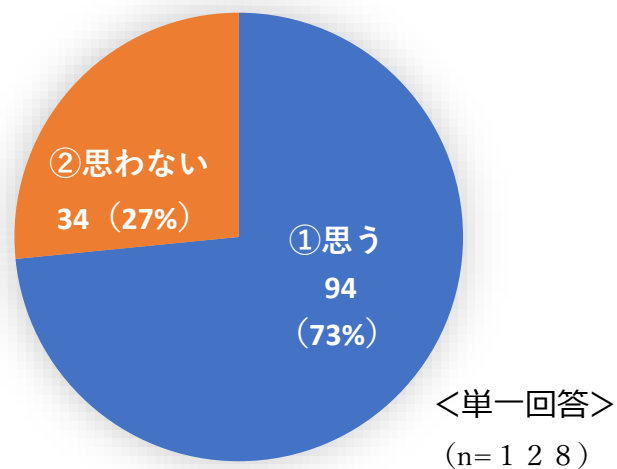
運行時間帯について



運賃について



運行範囲は適切か

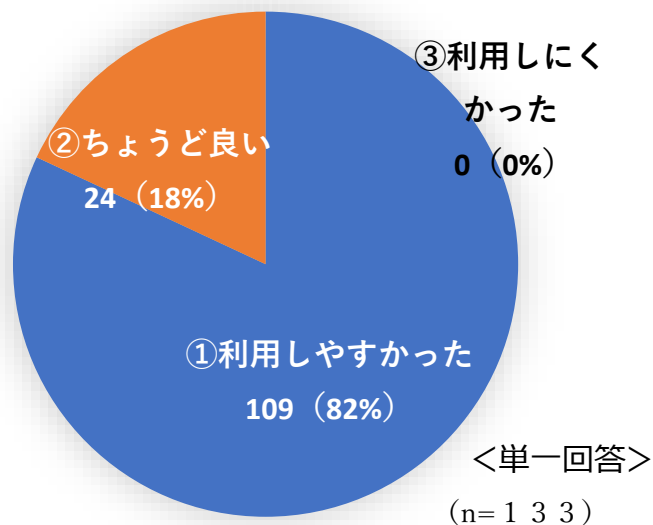


2-2. 実証結果（利用者アンケート）

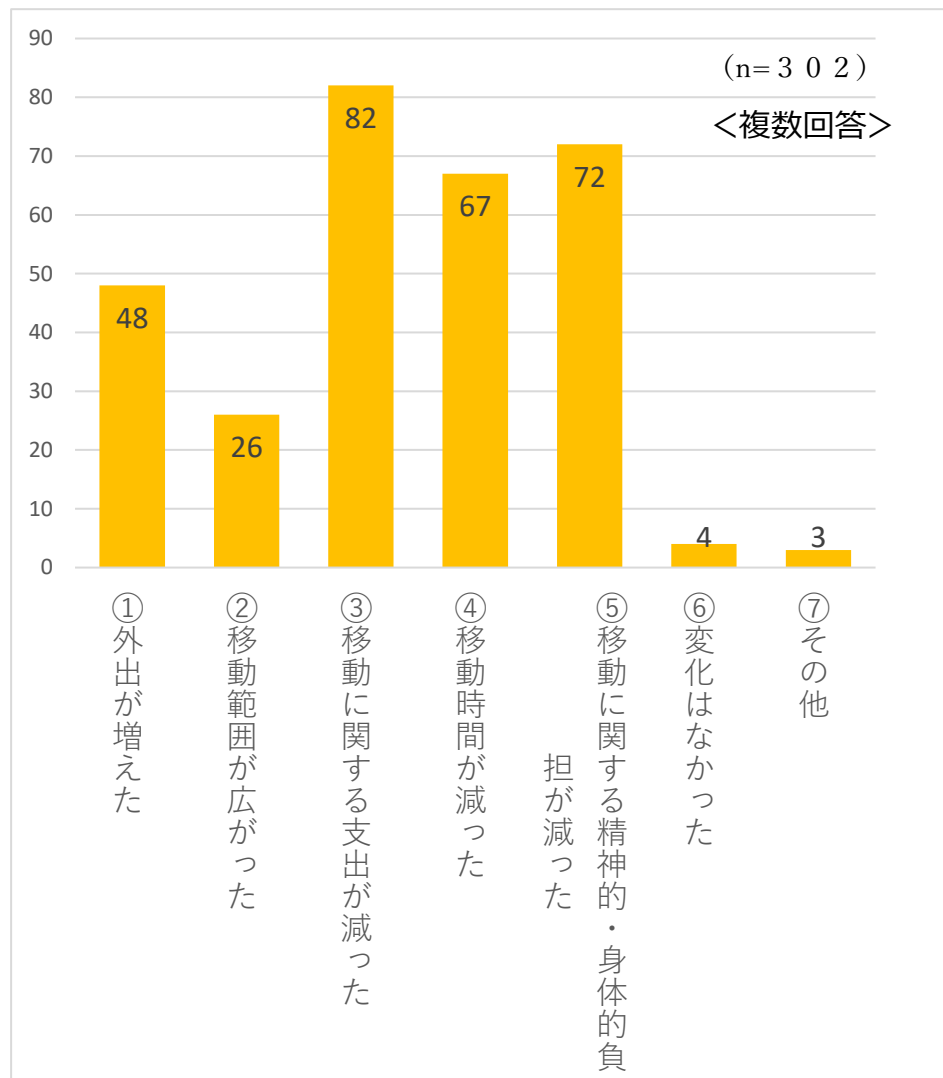
（4）利用者アンケート結果（利用の感想）

- 利用しやすさについては「利用しにくい」という回答はなく、「利用しやすかった」が8割,「ちょうど良い」が約2割となった。
- AIデマンド交通により生じた生活や移動の変化について,「支出が減った」が最も多く,次に「移動に関する精神的・身体的負担が減った」が多くなった。

＜利用しやすさについて＞



＜AIデマンド交通により,生活や移動に変化はありましたか＞

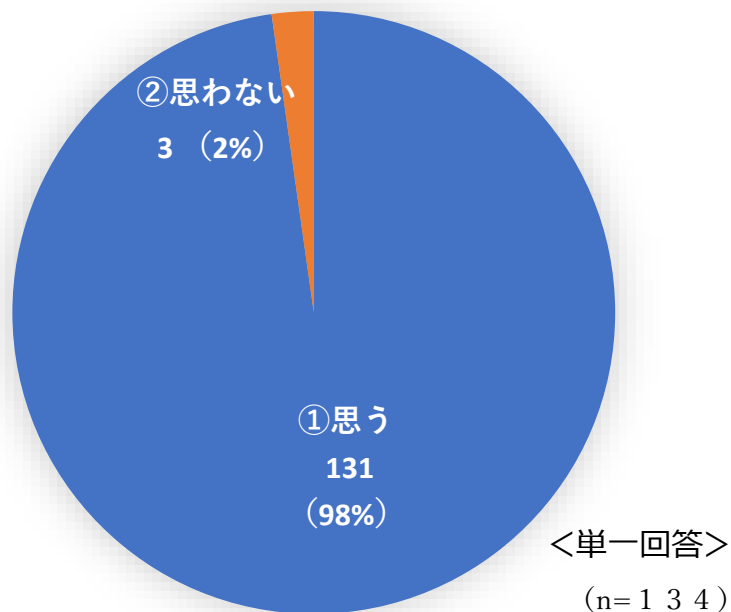


2-2. 実証結果（利用者アンケート）

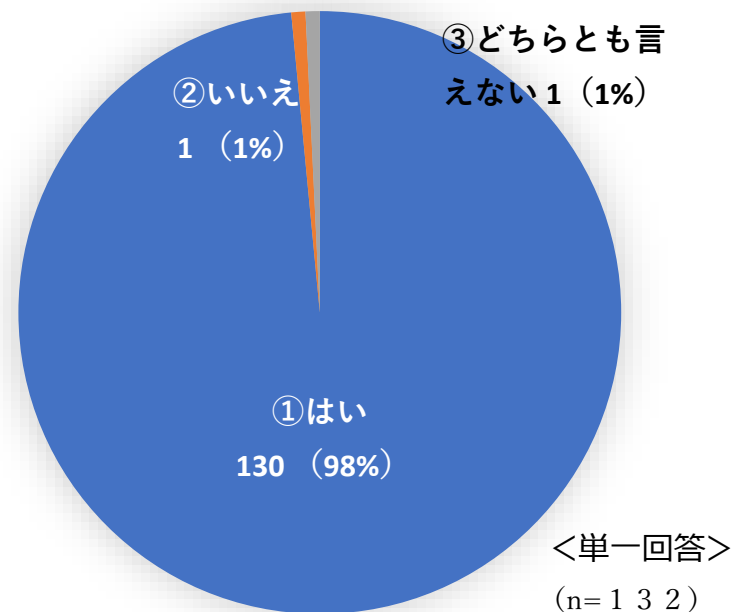
（5）利用者アンケート結果（全体の感想）

- 西部地区の公共交通として、「AIデマンド交通は適しているか」という設問に対し、98%が適していると回答した。理由として、「坂が多いから」という回答が多かった。
- 今後に運行継続した場合の利用意向についても、98%が利用したいという回答となった。
- 自由記述の意見欄では、肯定的意見として「他の人と乗り合っても、他人と少しでも話ができてうれしい」「家の前まで来てくれるのがよかった」という声があった。その他の意見として、運行範囲・運行時間の拡大や、2月以降の運行継続を求める声が複数件あった。

＜西部地区の公共交通として、
AIデマンド交通は適していると思いますか＞



＜今後も同じ形態で運行継続した場合、
利用しますか＞



2-3. 実証結果（運行事業者アンケート）

（１）乗務員アンケート結果

- ・ 利用者から得られた反応はおおむね良好であった。高齢利用者が多く、「坂の昇り降りが大変な中、目的地の目の前まで移動ができ、助かっている」との声が多かったという。
- ・ 再度運行した際の担当意向について、「担当したい」という声が多かった。
- ・ その他の感想では、通常のタクシー営業とは異なり、乗降地点へ向かう途中に、道中の予約が入り、ルートが変更された際に戸惑いを感じるという回答があった。

（２）コールセンターアンケート結果

- ・ 利用者から得られた反応はおおむね良好であった。高齢者から「悪天候時に助かる」・「普段なかなか足を運ばないような場所へ行くことができ、外出機会が増えた」という声があったという。
- ・ また、全員から再度運行した際もまた担当してもよいという回答があった。
- ・ 困難であった点として、「一般のタクシーとの違いについて認識できていない方」に対して理解いただくことという回答があった。

<利用者から得られた反応はどうでしたか>

	かなり良かった	概ね良かった	どちらとも言えない	概ね不評だった	かなり不評だった
運転手	5	2	0	0	0
コールセンター	0	3	0	0	0

<今後またAIデマンド交通を運行する場合、再度担当してもよいと感じますか>

	担当したい	担当したくない	検討中
運転手	6	0	1
コールセンター	3	0	0

2-4. 実証結果

収支状況

○収入の部

函館市負担金	3, 1 7 8 千円
国土交通省「共創モデル実証事業」補助金	5, 9 3 1 千円
運賃収入	6 1 8 千円
合 計	9, 7 2 7 千円

○支出の部

運行委託費 ※	6, 6 0 0 千円
システム使用料	2, 0 9 0 千円
広告掲出委託費	4 9 1 千円
広告作成・印刷費	4 2 2 千円
広告配布委託費	6 1 千円
説明会場使用料	4 1 千円
その他諸経費（振込手数料・荷物運搬費）	2 2 千円
合 計	9, 7 2 7 千円

※ 実際に支出した運行委託費は運賃収入を差し引いた金額となるが、本頁では運賃収入を収入の部に記載するため、差し引き前の経費を計上している。

運賃収入の収支率 6. 35%

3. 検討事項の検証

(1) 効率的で利便性の高い公共交通ネットワーク形成のためのAIデマンド交通導入に向け、移動ニーズを踏まえた、効率性が高く、地域住民に受け入れられやすい運行内容等の確認

- 利用者アンケート結果から、「利用しやすい」という回答が多く、乗合運行についても「乗合してもよい」「特に気にならない」という回答が多かったことから、AIデマンド交通の社会受容性は高いものと想定する。
- 一方で**運行範囲・時間**については「適切と思う」という回答が多いものの、**拡大を求める声も一定数存在した。**

(2) バス運転手不足へ対応するため、大型二種免許以外で運行可能な交通モードへの転換可能性について検証

- 利用しやすいとしては地域住民に受け入れられるものであるが、事業持続性を考慮すると、運賃収入で運行経費を賄うものとした場合、**収益性に大きな課題がある。**

(3) 函館山麓の急な斜面に宅地が立地していることが、バス停・電停などへの徒歩移動を困難にしているという、西部地区の交通上の課題の解消手段となるかどうかの検証

- 利用者アンケート結果から、AIデマンド交通の運行は西部地区に「適している」という回答が多く、急な坂の上の住宅であっても、家の前まで迎えにいくことができる「ドアtoドア」方式の運行により、課題を解消しうると判断できる。

4. 検討状況

令和7年5月2日に第1回ワーキンググループ会議を開催した結果、検討事項に対し、下記のような意見があった。（出席者：ワーキンググループ委員、交通事業者、住民代表等）

（1）運行時間・運行範囲の検討

- ・ 利用の多い高齢者の行動パターンに合わせて設定した方がよい。

（3）その他

- ・ 路線バス・市電の利用者数に減少がないことから、公共交通間で利用者の棲み分けができていたと思われる。
- ・ 地域の方に利用いただくのが一番重要である。地域住民のうち利用しなかった方等、地域の声をもっとひろう必要がある。
- ・ 足腰が弱い方の外出機会を創出するのにとても良いと考えており、ぜひ続けてほしい。

（2）収益面の課題への対応

【収入増加へ向けた意見】

- ・ 1台3名までというのは輸送量が少ない気がするので、7名乗りなど、大きな車種を導入できるとよい。
- ・ 運賃の値上げを考えても、上限はタクシー料金以下でなければ使われなくなる恐れがある。
- ・ 持続性確保の観点から、地域団体等が利用促進や広告収入の獲得に積極的に協力するなど、地域が支える仕組みも考えていかなければならないのではないか。

【コスト削減へ向けた意見】

- ・ 利用の多い曜日のみ運行する等といった費用のスリム化が必要。
- ・ 予約対応のためコールセンターとシステムという二重の経費が生じているが、このような経費を削減する工夫が必要。

検討の結果、収益面等の課題は多いが、事業継続性を考慮しつつ、運行継続へ向けて引き続き検討を行うこととなった。今後は再度ワーキンググループ会議を行った上で最終の報告書を取りまとめる予定である。